株 式 会 社　エ ー ワ ン 精 密

平成30年６月期･第２四半期決算説明資料

平成30年６月期・第２四半期決算説明資料目次

		ページ
（1） 当社の事業について		
① 当社の事業展開	……	1
② 事業内容・特色	……	2
③ 自動旋盤用カム部門	……	3
④ コレットチャック部門	……	4
⑤ 切削工具部門	……	5
（2） 決算について		
① 決算の概要	……	6
② 損益の状況	……	7
③ 財務の状況	……	8
④ ｷｬｯｼｭ･ﾌﾛｰの状況	……	9
（3） 今後の事業展開		
① 自動旋盤用カム部門	……	10
② コレットチャック部門	……	11
③ 切削工具部門	……	12
（4） 添付資料	……	13

当 社 の 事 業 展 開

経営理念
高品質な製品をより低コスト、短納期で
顧客のニーズに応え製品を提供する

ものづくりに不可欠な工具を扱う

利益を出せる事業を行う

業界のトップを狙える事業を行う

事　業　内　容

自動旋盤用カムの製造・販売 （昭和45年～）

コレットチャックの製造・販売 （昭和51年～）

切削工具の再研磨及び特殊切削工具の製作 （平成１１年～）

事　業　領　域

旋盤による旋削加工・フライスによる切削加工に使用される消耗工具に特化

機械により素材を削り出し精密な部品加工する根幹となる製造工程に的を絞っている

工具の中でも使用される状況に応じて種類・形状が多岐に亘り製造に手間のかかる工具

他社との差別化・当社の特色

多品種で手間のかかる工具に1本から高品質・短納期対応する

直販比率が高く製造・販売両面で利益を享受できる

15,000社以上の顧客からリピートオーダーが入る

自動旋盤用カム部門

カム式小型自動旋盤で使用されるカムの設計・製作・販売

・同じ部品を大量に効率的に生産できる機械

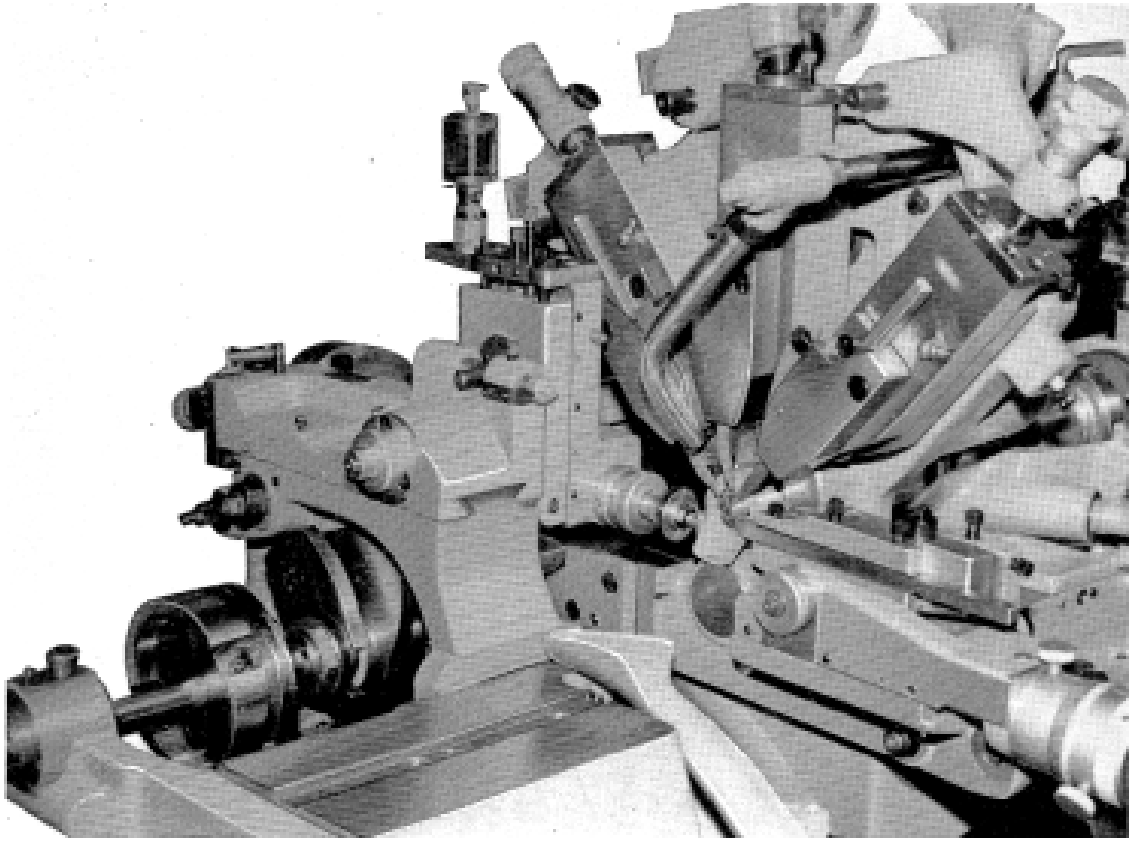
・単品、大量生産部品がアジアなどの海外生産に移行してから機械自体が製造されていない

・カム式機械を使用する顧客からの受注に対応

製品写真

カム式自動旋盤（型番：NS－P1053）

カム取付後写真



コレットチャック部門

主に小型自動旋盤で使われるコレットチャックの製造・販売

コレットチャックが主に使われる機械

NC旋盤　2,795億円（2017年生産額）　18,235台

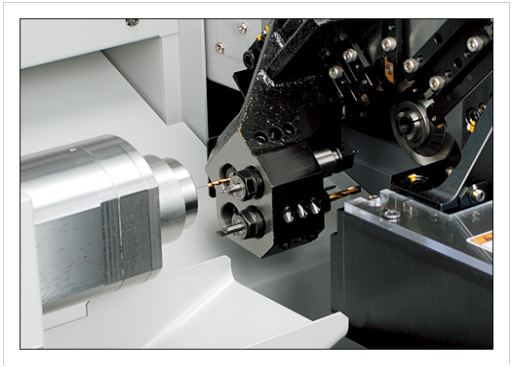
うち　小型CNC自動旋盤約 1,514億円（2017年推定生産額）

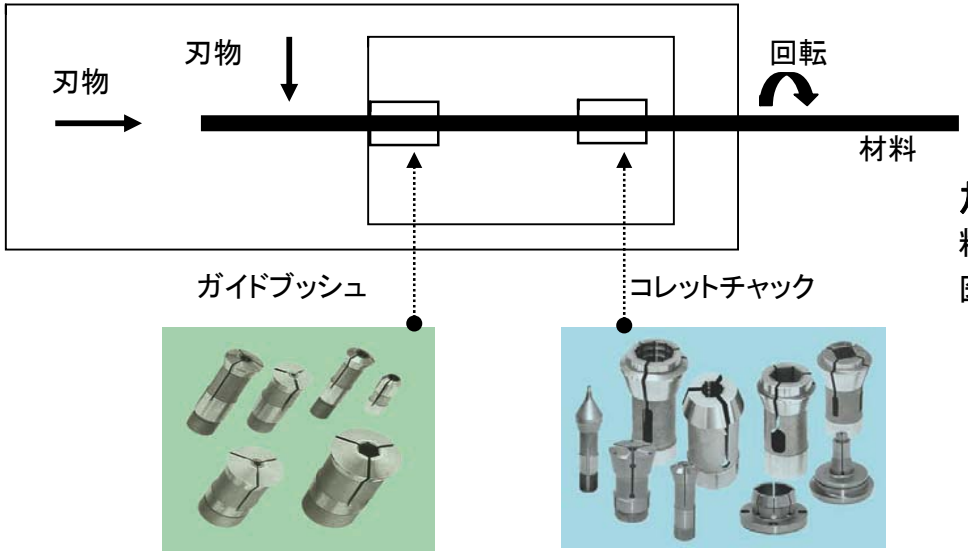
主な小型CNC自動旋盤メーカー

シチズンマシナリーミヤノ、スター精密、ツガミ、高松機械

特殊コレットチャック

専用機　873億円（2017年生産額）　3,923台





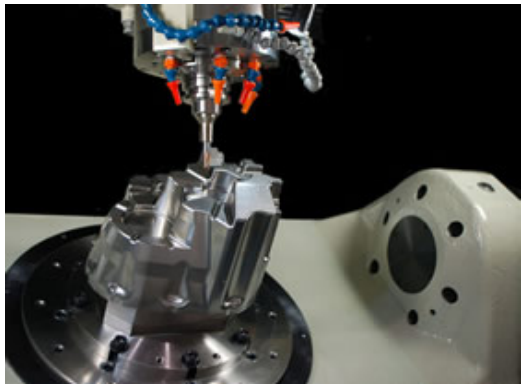
加工部品

精密機械、産業機械、電子部品、半導体、自動車、航空機、医療機器など

切削工具部門

金属等の切削部品加工に使用される工具の製作・再研磨

加工のイメージ



主に切削工具を使用する機械

マシニングセンター	2,877億円（2017年生産額）	40,124台
NCフライス、中ぐり盤	145億円（2017年生産額）	780台

使用される工具

超硬エンドミル　527億円（2017年生産額）
超硬ドリル　373億円（2017年生産額）
その他超硬工具 365億円（2017年生産額）

主なマシニングセンターメーカー

オークマ、ヤマザキマザック、森精機、牧野フライス
キタムラ機械、安田工業、松浦機械、東芝機械
三井精機、三菱重工など

加工部品のイメージ

・材料を固定し、切削工具が回転して材料を切削して部品形状を作る

・小物から大物まであらゆる部品加工に使用される

・ロットのある部品の場合、特殊切削工具で量産加工することが多い

加工部品

一般機械、自動車、精密機器、電子部品、航空機、金型

平成30年6月期・第2四半期累計期間　決算概要

売 上	期初の7月は落ち着いたスタートとなったが、世界的に概ね好調だった景気を受けて当社の受注も年末に向けて穏やかながら増加傾向を示した。
原 価	受注増加に伴い労務費、電力費などのコストは上昇したが、減価償却費は若干減少し売上に比べて上昇率は抑えられた。
利 益	固定費率が下がったことにより増益となった。

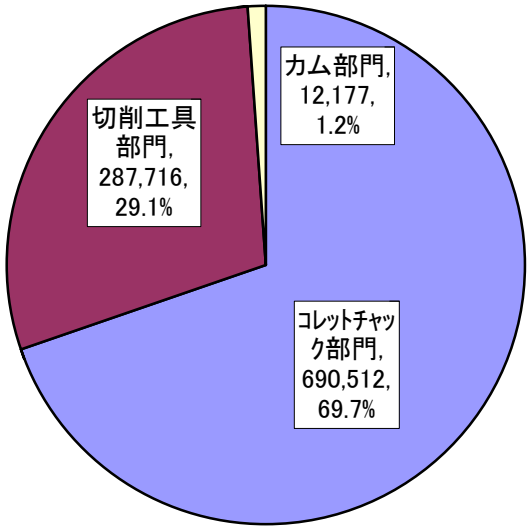
人件費　（千円）

	前第2四半期(累計)	当第2四半期(累計)
労　務　費	373,860	382,836
コストに占める比率	55.7%	54.6%

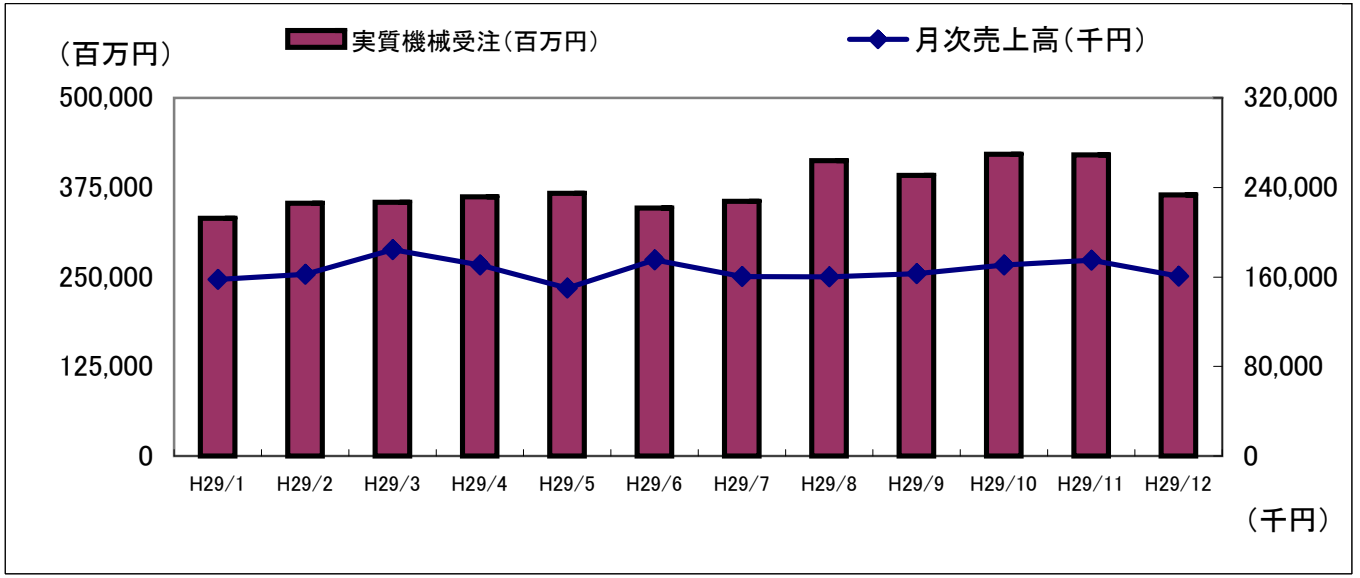
設備投資額と減価償却費　（千円）

	前第2四半期(累計)	当第2四半期(累計)
設備投資額	76,444	28,977
減価償却費	87,109	83,285

部門別売上構成比（千円）



実質機械受注と月次売上高



平成30年６月期・第2四半期　損益の状況

（単位：千円）

	前第2四半期(累計)			当第2四半期(累計)			増　減　要　因
売上高		売上構成比	前年同期比		売上構成比	前年同期比	
コレットチャック	647,074	69.5%	99.0%	690,512	69.7%	106.7%	加工部品の高度化、量産部品が堅調だったことなどにより、受注は緩やかに増加
切削工具	268,275	28.8%	99.6%	287,716	29.1%	107.2%	量産部品が堅調であったことと省力化、自動化などを含む設備投資が動いたことで受注は緩やかに増加。
自動旋盤用カム	15,327	1.7%	81.7%	12,177	1.2%	79.4%	カム式自動旋盤で加工する量産部品が減少し受注減少。
合　計	930,677	100.0%	98.8%	990,406	100.0%	106.4%	
売上原価	528,356	56.8%	97.4%	555,718	56.1%	105.2%	受注増に伴い労務費、電力費、修繕費など上昇、減価償却費は減少。
売上総利益	402,321	43.2%	100.8%	434,687	43.9%	108.0%	
販売費及び一般管理費	144,609	15.5%	95.7%	145,469	14.7%	100.6%	通常の範囲内
営業利益	257,711	27.7%	103.9%	289,218	29.2%	112.2%	固定費率減少で利益率改善
経常利益	267,199	28.7%	104.0%	297,799	30.1%	111.5%	
当期純利益	180,642	19.4%	49.2%	232,880	23.5%	128.9%	繰延税金資産が増加し、法人税調整額により増益となった。

平成30年6月期･第2四半期　財務の状況

（単位：千円）

事業年度 / 資産	前事業年度末 金額	前事業年度末 構成比	当第2四半期 金額	当第2四半期 構成比	主な増減要因
現預金	6,036,591	72.9%	5,923,253	69.9%	
売上債権	425,286	5.1%	422,208	5.0%	
棚卸資産	199,357	2.4%	194,739	2.3%	
その他流動資産	16,513	0.2%	22,346	0.3%	
固定資産	1,610,610	19.4%	1,906,201	22.5%	長期預金 301百万円、繰延税金資産 30百万円増加。
資産合計	8,288,360	100.0%	8,468,748	100.0%	
負債･資本					
買入債務	16,135	0.2%	16,806	0.2%	
その他流動負債	197,311	2.4%	264,277	3.1%	未払法人税等 46百万円増加。
固定負債	423,039	5.1%	435,428	5.2%	
負債合計	636,486	7.7%	716,511	8.5%	
純資産合計	7,651,873	92.3%	7,752,237	91.5%	四半期純利益 232百万円増加、剰余金配当 143百万円減少。
負債･純資産合計	8,288,360	100.0%	8,468,748	100.0%	

平成30年６月期・第2四半期　キャッシュ・フローの状況

（単位：千円）

	前第2四半期（累計）	当第2四半期（累計）	対前年同期比増減額	主な増減要因（対前期比）
営業活動によるキャッシュ・フロー	227,669	362,956	135,287	主な増加要因：税引前当期純利益　297,799千円 減価償却費　83,285千円 主な減少要因：法人税等の支払額　58,136千円
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 77,044	▲ 30,931	46,113	主な減少要因：有形固定資産の取得による支出　28,977千円
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 120,050	▲ 144,055	▲ 24,005	主な減少要因：配当金の支払い額　143,942千円
現金及び現金同等物の増減額	30,574	187,970	157,396	
現金及び現金同等物の期末残高	489,737	789,444	299,707	

今後の事業展開 ～ 自動旋盤用カム部門

事業展開
◇カム式自動旋盤（すでに製造中止）は単品大量生産向きで少量ながらカムの需要は継続
◇将来的には減少傾向

競合状況
◇3千5百万円弱の市場規模で既存の中小企業が継続している

当社の事業展開
◇既存の償却済設備と現状の人員で対応
◇低コスト製造を徹底

今後の事業展開 ～ コレットチャック 部門

小型CNC自動旋盤用コレットチャック

推定市場規模　25～30億円

メーカー　4社程度

その他　専用機コレットチャック

メーカー　3、4社程度

＜今後の方向性＞
◇小型精密部品の分野では今のところ代替する加工方法は少ない（コスト、時間などを考慮して）
◇世界的に小型精密部品に要求される精度、加工難易度は厳しくなる傾向
◇大量生産品と多品種小中ロット品に二極化している

＜国内の状況＞
◇CNC自動旋盤　シチズンマシナリー、スター精密、ツガミ3社で世界の大半を占めている
◇国内で推定 12 ～ 13万台の機械が稼働している
◇加工ノウハウ、使用工具の工夫で日本企業の競争力は高い

＜当社の対応＞
◇加工部品に合わせた顧客ごとのオーダー品のコレットチャック対応
◇増大する高精度コレットチャック需要に対応した設備・人材の確保・拡充
◇専用機用コレットチャック対応力を高める

今後の事業展開～切削工具部門

対象企業	主要加工内容	切削工具の状況		当社の受注	競合状況
大手メーカー 自動車・重電・航空機など 100社程度	量産部品加工 小ロット大物加工	切削工具内製、外部購入（工具商社経由） 社内再研磨、メーカー再研磨		× △	内製、ｸﾞﾙｰﾌﾟ会社 切削工具メーカー
準大手・中堅メーカー 従業者100名以上 13,000社程度	量産部品加工	市販切削工具 特注切削工具	再研磨外注 外部購入	○ ◎	再研磨会社 150社程 全国規模　4～5社 地域型、個人経営 工具商社系
中小加工企業 18万社程度	単品加工 設備・治具、金型 小中ロット加工	市販切削工具 市販切削工具 特注切削工具	再研磨外注 再研磨外注 外部購入	○ ◎ ◎	特注切削工具 大手メーカー　10社程度 中小規模メーカー　数十社

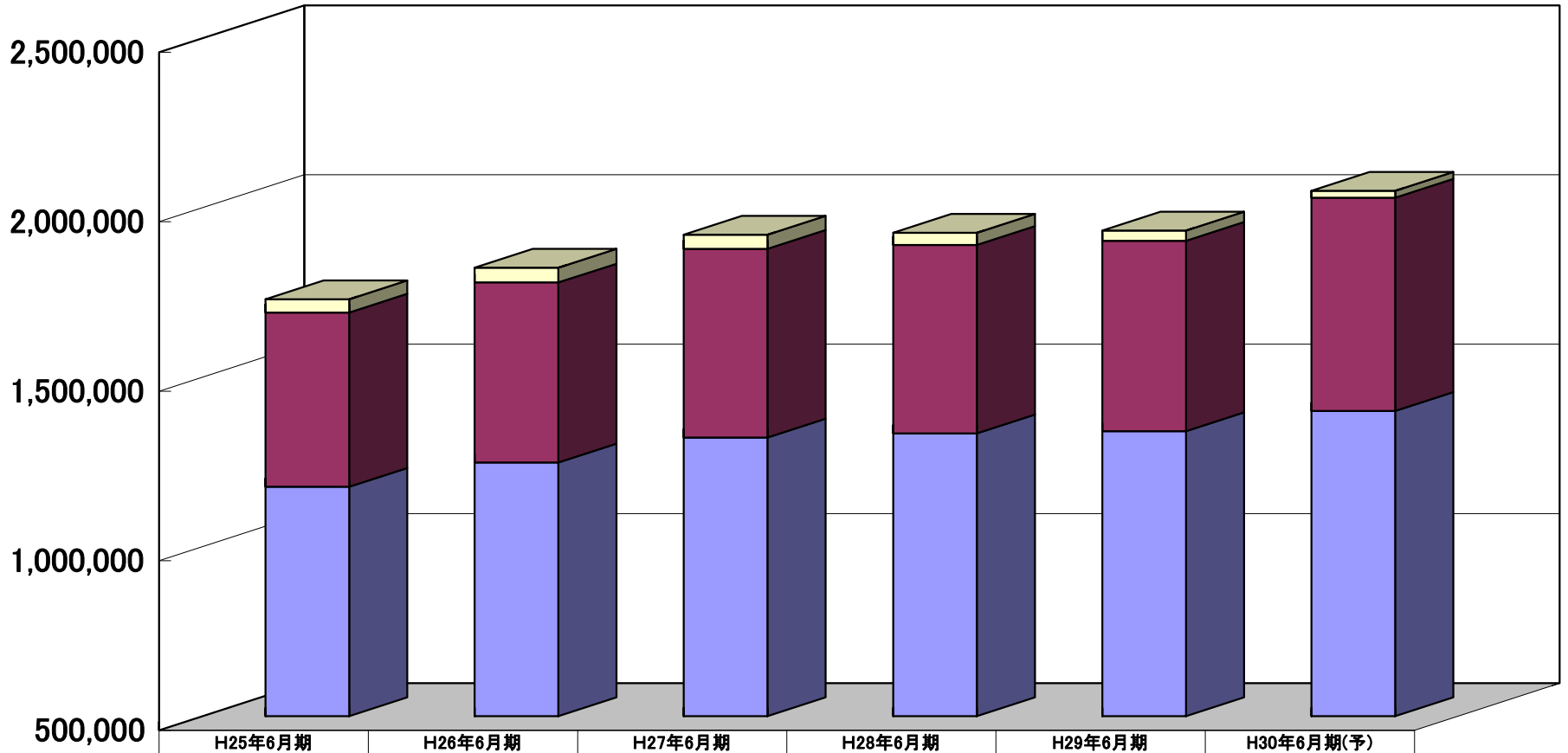
＜市販切削工具の例＞　再研磨

＜特注切削工具の例＞　製作および再研磨

添付資料 ①

部 門 別 売 上 状 況

（単位：千円）

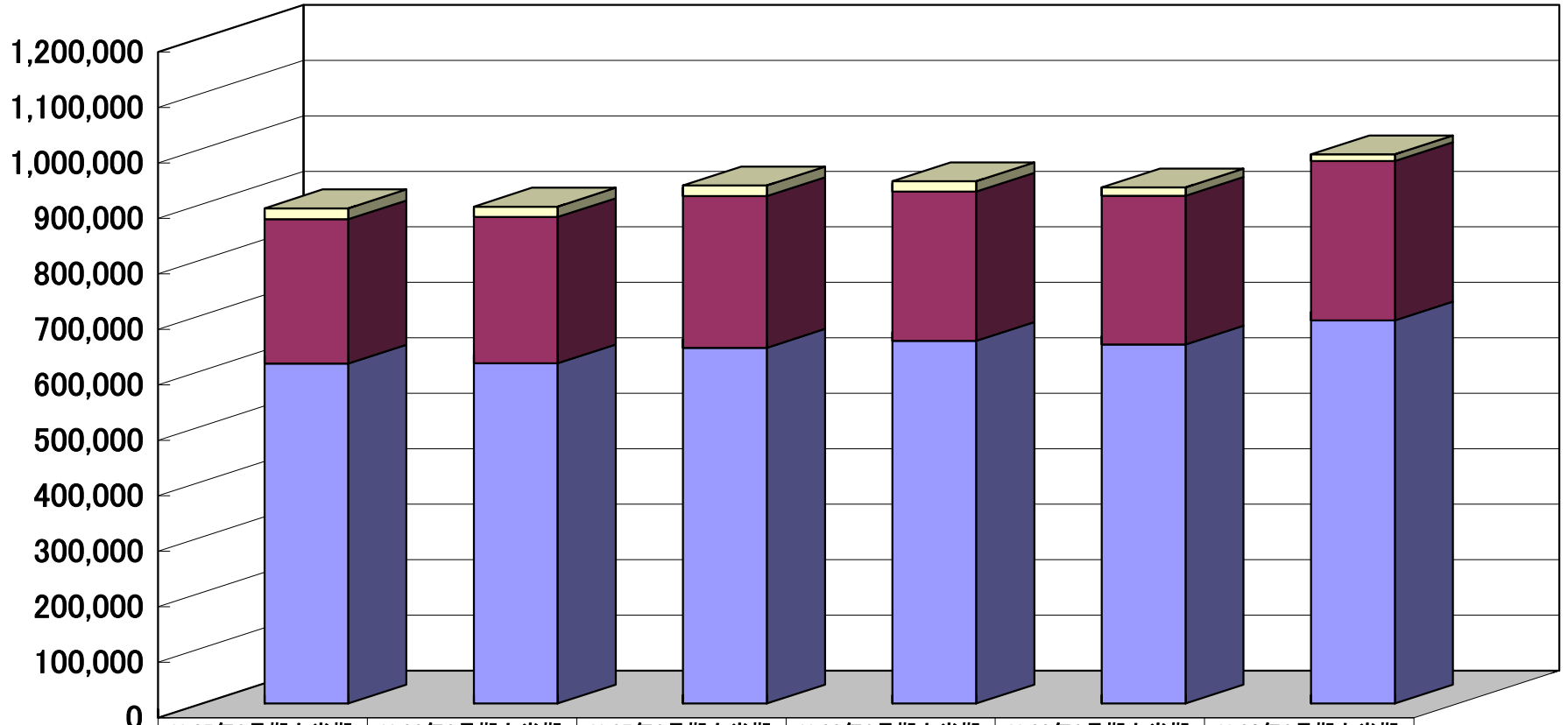


	H25年6月期	H26年6月期	H27年6月期	H28年6月期	H29年6月期	H30年6月期(予)
□自動旋盤用カム	39,217	43,938	41,653	36,082	30,569	20,000
■切削工具	514,225	530,577	556,945	555,941	561,061	630,000
■コレットチャック	1,176,541	1,248,581	1,321,739	1,333,928	1,340,813	1,400,000

添付資料 ②

上 半 期 部 門 別 売 上 状 況

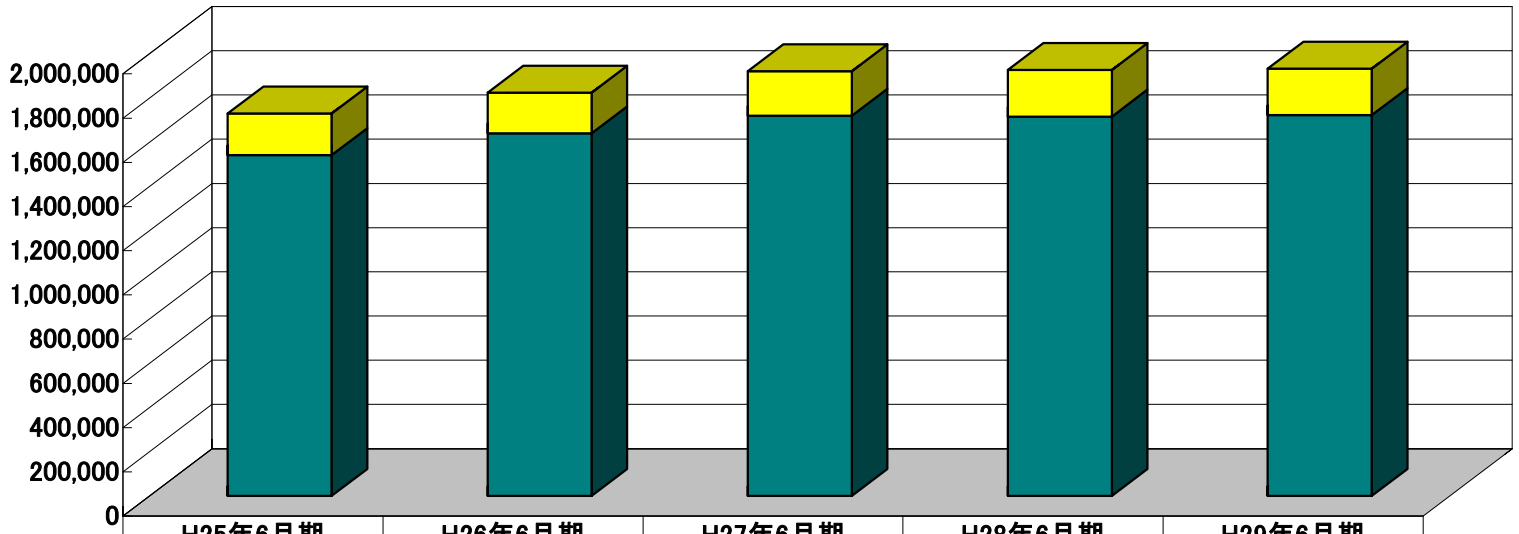
（単位：千円）



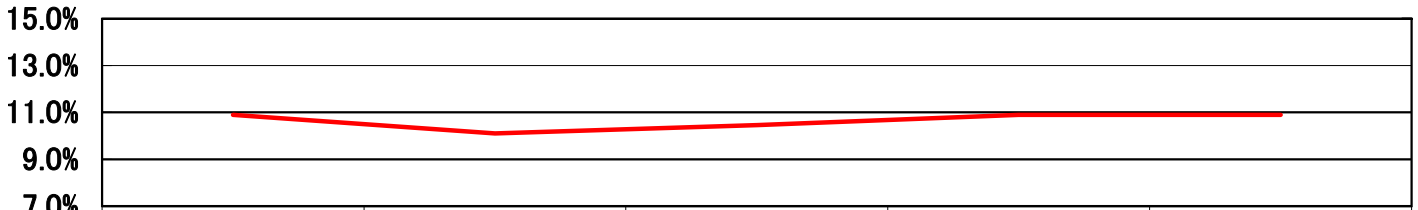
	H 25年6月期上半期	H 26年6月期上半期	H 27年6月期上半期	H 28年6月期上半期	H 29年6月期上半期	H 30年6月期上半期
□自動旋盤用カム	19,871	19,119	19,464	18,759	15,327	12,177
■切削工具	260,382	263,534	273,446	269,381	268,275	287,716
□コレットチャック	612,779	613,410	641,432	653,629	647,074	690,512

輸 出 売 上 状 況

（単位：千円）



	H25年6月期	H26年6月期	H27年6月期	H28年6月期	H29年6月期
□輸出販売高	189,111	183,644	200,865	210,146	209,803
■国内販売高	1,540,873	1,639,452	1,719,473	1,715,805	1,722,641

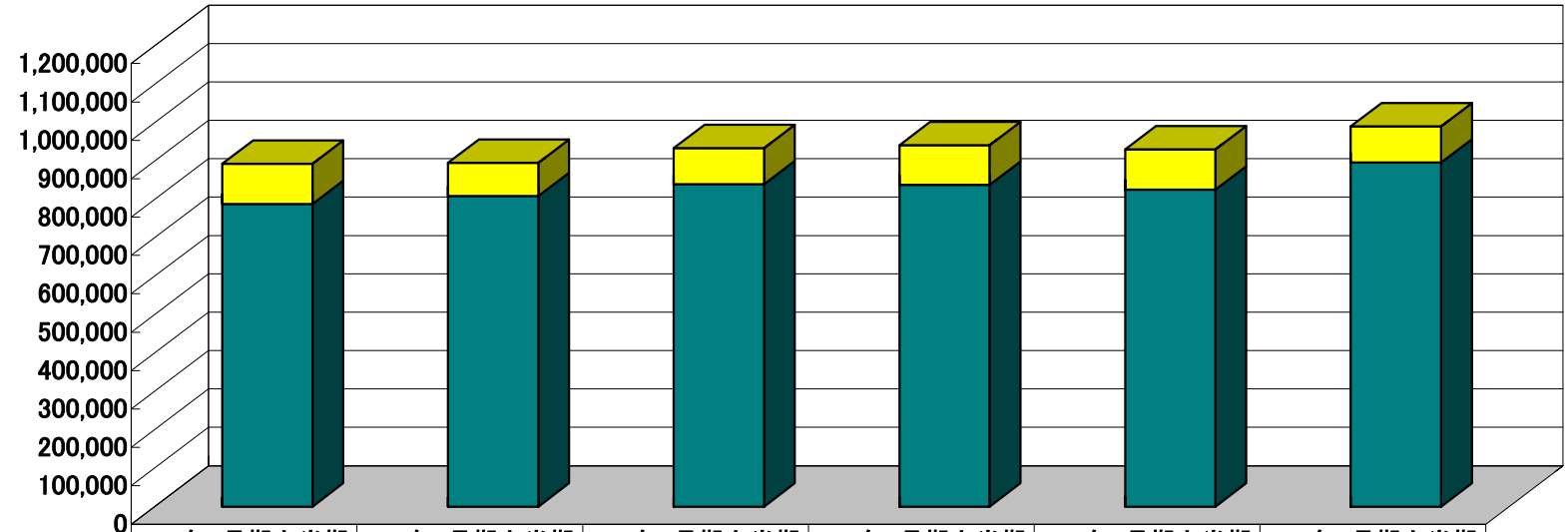


	H25年6月期	H26年6月期	H27年6月期	H28年6月期	H29年6月期
―輸出/売上高	10.9%	10.1%	10.5%	10.9%	10.9%

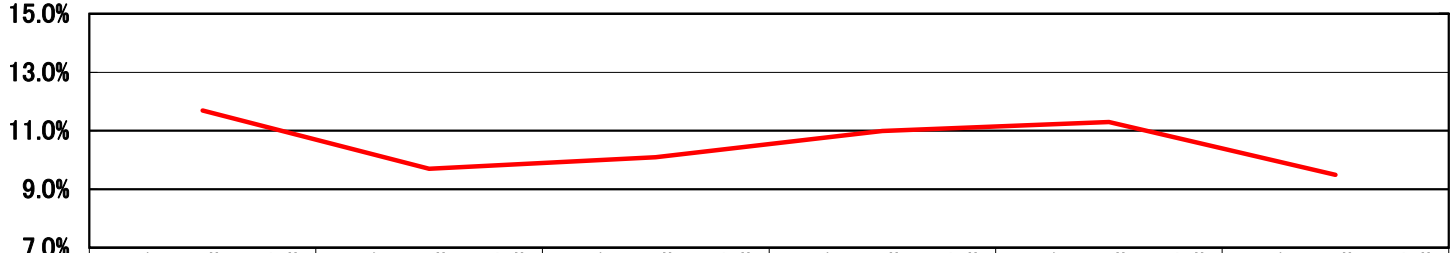
添付資料 ④

上 半 期 輸 出 売 上 状 況

（単位：千円）



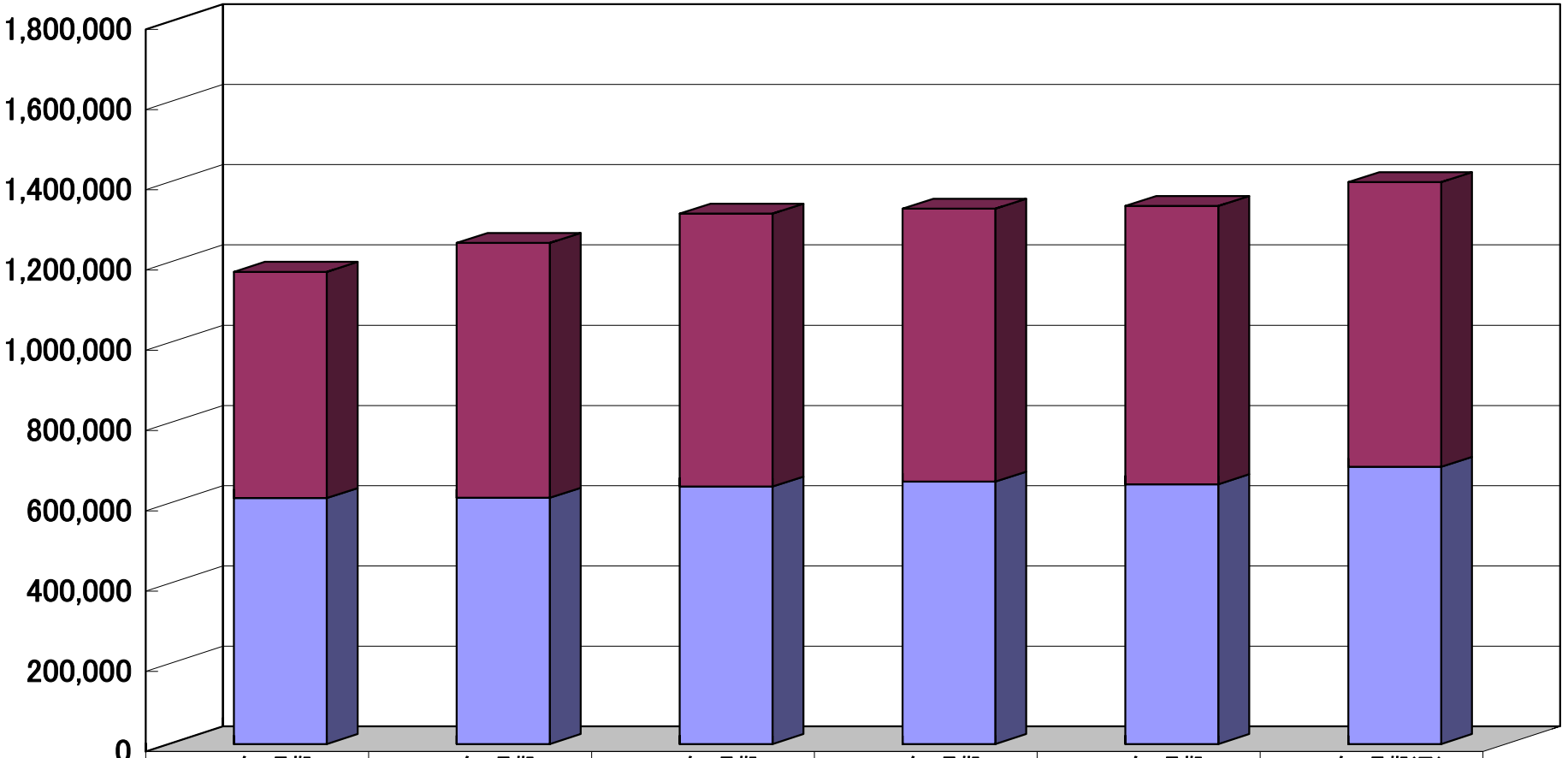
	H25年6月期上半期	H26年6月期上半期	H27年6月期上半期	H28年6月期上半期	H29年6月期上半期	H30年6月期上半期
輸出販売高	104,345	86,914	94,450	103,667	104,882	93,913
国内販売高	788,688	809,149	839,893	838,102	825,794	896,492



	H25年6月期上半期	H26年6月期上半期	H27年6月期上半期	H28年6月期上半期	H29年6月期上半期	H30年6月期上半期
輸出/売上高	11.7%	9.7%	10.1%	11.0%	11.3%	9.5%

部門別状況 ～ コレットチャック部門

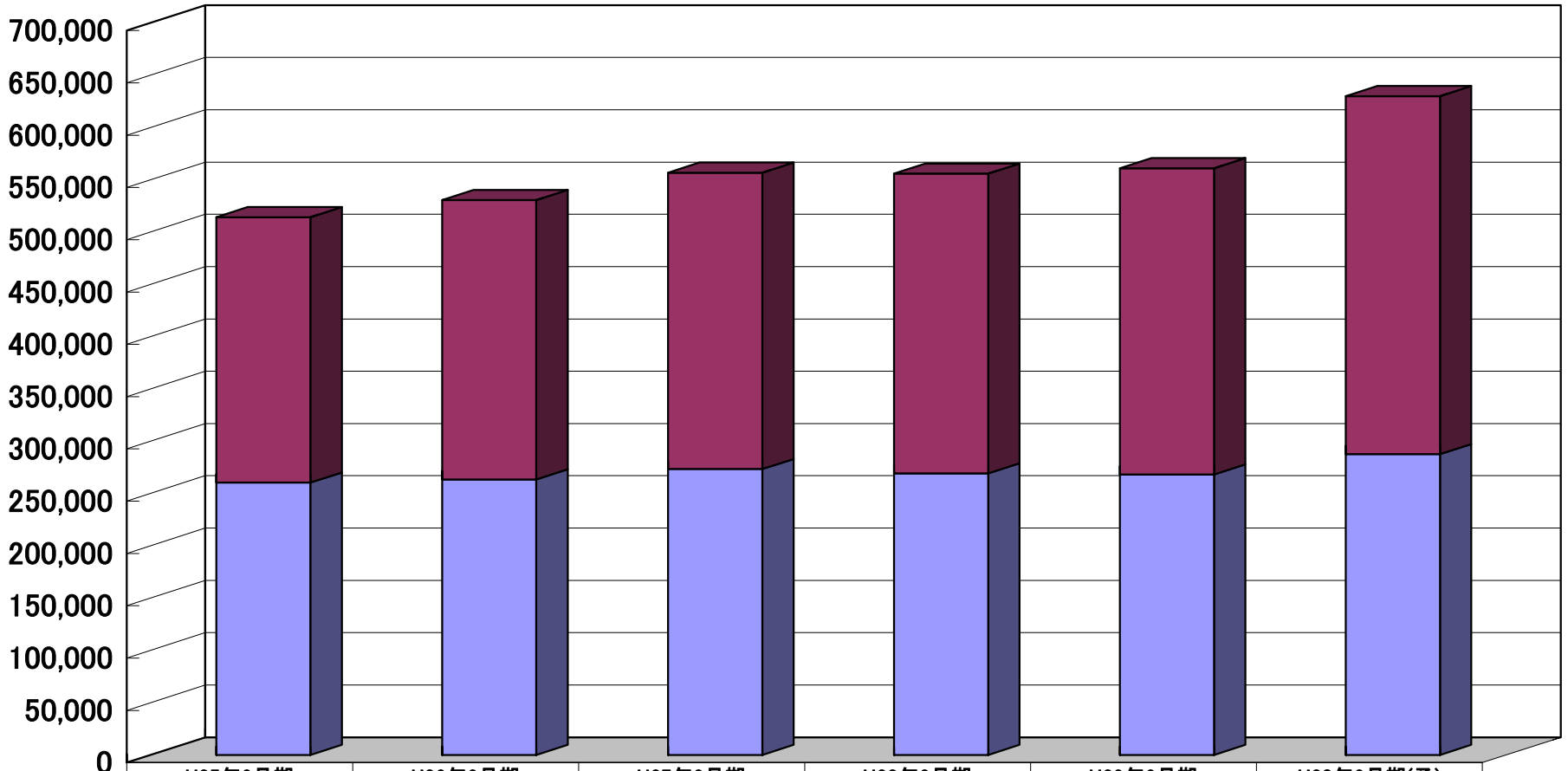
コレットチャック部門売上高（単位：千円）



	H25年6月期	H26年6月期	H27年6月期	H28年6月期	H29年6月期	H30年6月期(予)
下半期	563,762	635,171	680,307	680,299	693,739	709,488
上半期	612,779	613,410	641,432	653,629	647,074	690,512

部 門 別 状 況 ～ 切 削 工 具 部 門

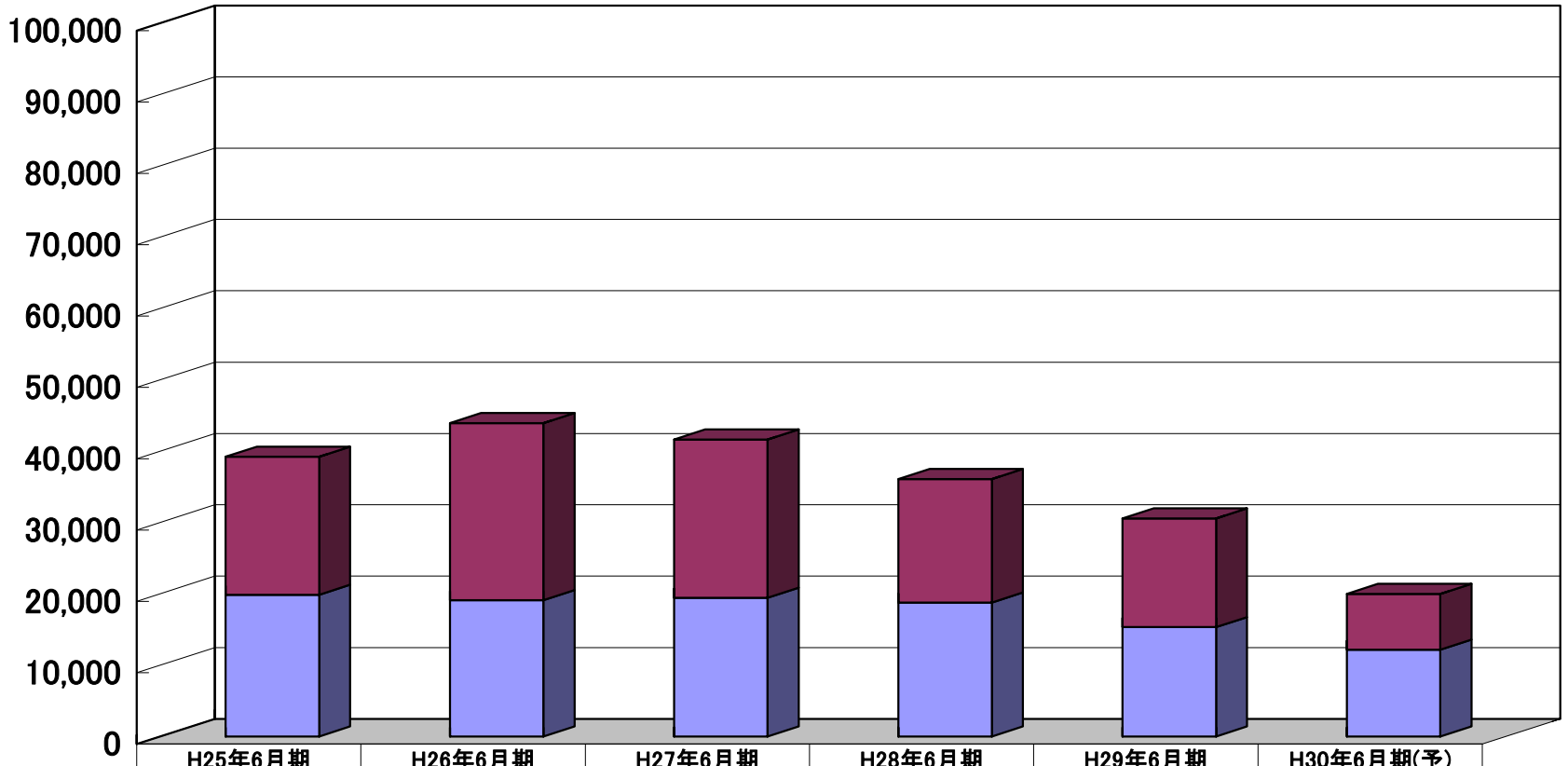
切削工具売上高(単位:千円)



	H25年6月期	H26年6月期	H27年6月期	H28年6月期	H29年6月期	H30年6月期(予)
下半期	253,843	267,043	283,499	286,560	292,786	342,284
上半期	260,382	263,534	273,446	269,381	268,275	287,716

部門別状況 ～ 自動旋盤用カム部門

カム部門売上高(単位:千円)



	H25年6月期	H26年6月期	H27年6月期	H28年6月期	H29年6月期	H30年6月期(予)
下半期	19,346	24,819	22,189	17,323	15,242	7,823
上半期	19,871	19,119	19,464	18,759	15,327	12,177

設 備 投 資 と 減 価 償 却 実 施 額

設備投資額 (単位:千円)	H26年6月期	H27年6月期	H28年6月期	H29年6月期	H30年6月期
上半期	98,641	71,547	75,203	76,444	28,977
通　期	140,894	107,982	98,321	222,346	200,000(予)

減価償却費 (単位:千円)	H26年6月期	H27年6月期	H28年6月期	H29年6月期	H30年6月期
上半期	117,406	104,274	94,827	87,109	83,285
通　期	239,231	212,072	195,071	181,786	181,440(予)

切 削 工 具 部 門 の 戦 略 と 受 注 状 況

受注体制（人材、設備、社内オペレーション）を万全にする

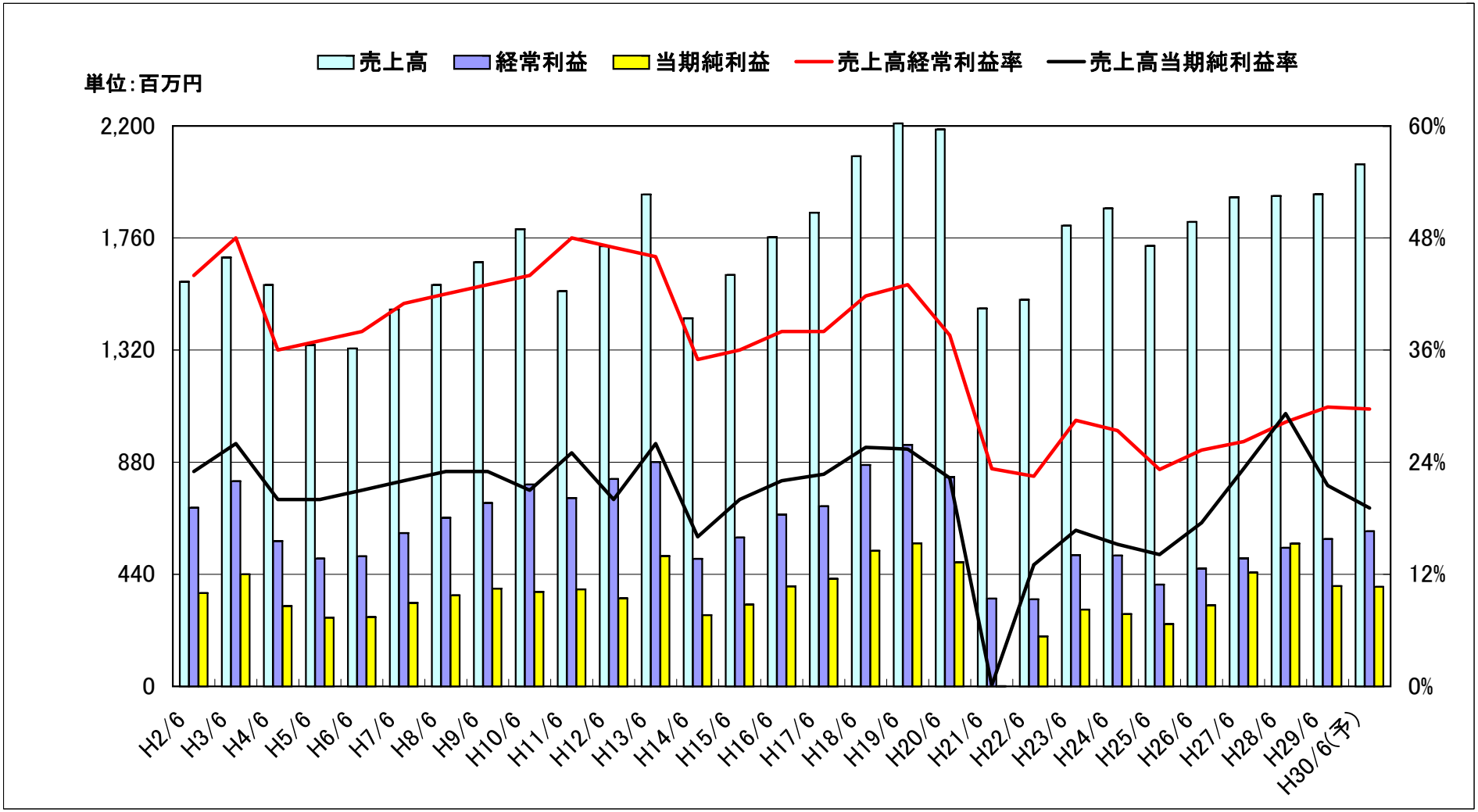
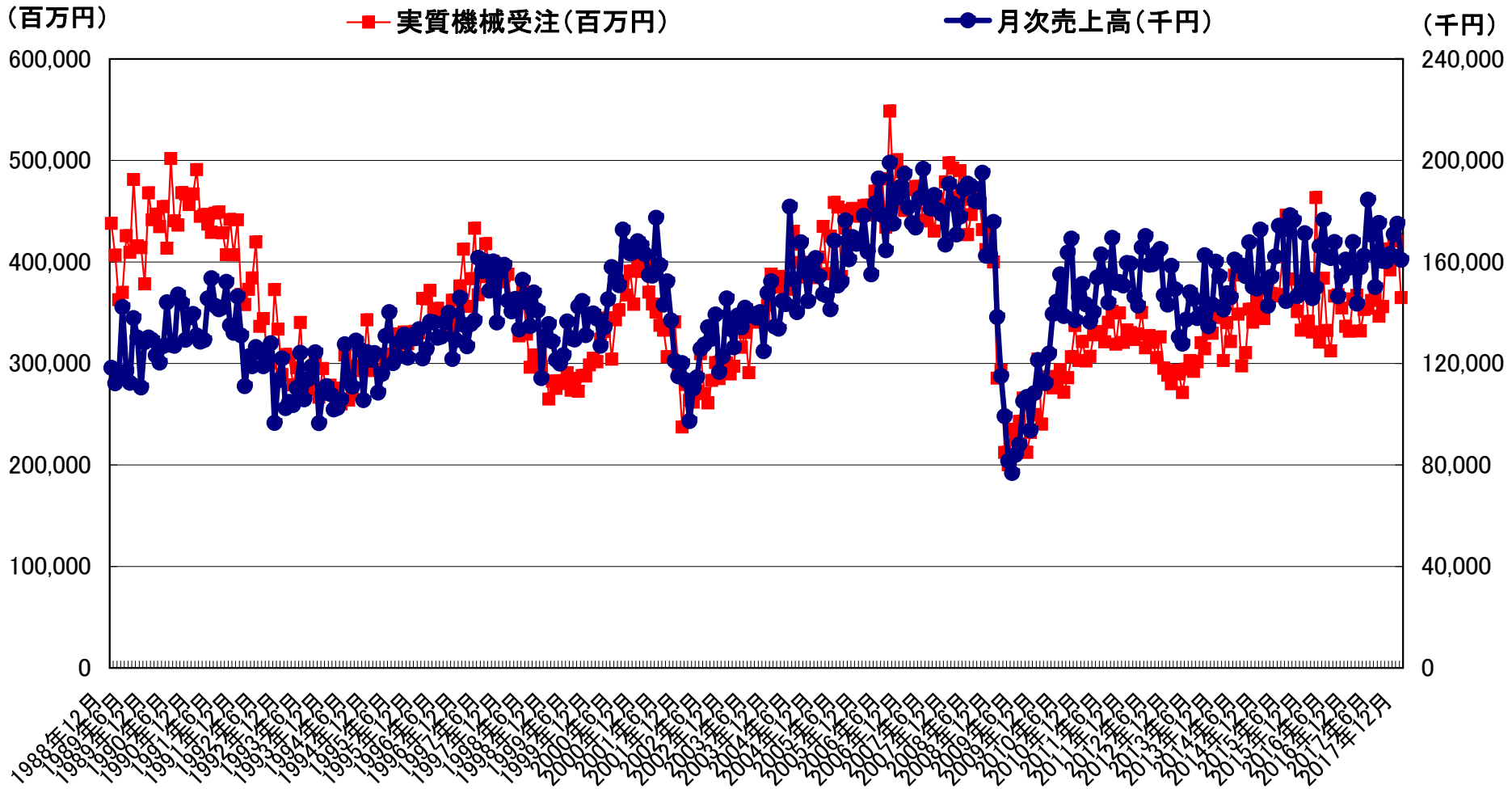
新規設備導入により特殊ものへの対応を強化する

営業地域拡大し認知度向上と地域浸透度を高める

切削工具部門の受注状況

	H29/1	H29/2	H29/3	H29/4	H29/5	H29/6	H29/7	H29/8	H29/9	H29/10	H29/11	H29/12
月間売上件数	1,164	1,349	1,488	1,351	1,206	1,480	1,268	1,222	1,317	1,411	1,341	1,250
顧客総数(右軸)	6,427	6,445	6,460	6,471	6,470	6,478	6,479	6,487	6,488	6,481	6,481	6,469

業　績　の　推　移


売上高
経常利益
当期純利益
売上高経常利益率
売上高当期純利益率
単位:百万円
2,200
1,760
1,320
880
440
0
60%
48%
36%
24%
12%
0%
H2/6
H3/6
H4/6
H5/6
H6/6
H7/6
H8/6
H9/6
H10/6
H11/6
H12/6
H13/6
H14/6
H15/6
H16/6
H17/6
H18/6
H19/6
H20/6
H21/6
H22/6
H23/6
H24/6
H25/6
H26/6
H27/6
H28/6
H29/6
H30/6(予)

実 質 機 械 受 注 と 月 次 売 上 高